

京都工芸繊維大学（松ヶ崎）4号館外壁等改修工事

質 疑 回 答 書（設 計 図 書）

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

質 疑 回 答 書 (設 計 図 書)

令和8年7月31日

工事名 京都工芸繊維大学（松ヶ崎）4号館外壁等改修工事

No.	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	特-03 A-05	凡例 符号C について 既存防水形複層塗材E を「全て」除去するということでしょうか？ また、その除去方法は 塗膜はく離剤工法（環境配慮型・アルコール系）によるということでしょうか？	特-03に特記する工法で塗膜を全面撤去する箇所はA-02, 03, 04 凡例B（庇下面）A-06, 07 凡例H（小庇下面）とします。 A-05, 06, 07, 08 凡例C（外壁垂直面）はA-05に記載の「全て高圧洗浄（30～50MPa）程度」にて脆弱部の塗膜を撤去することとします。 なお、凡例C（外壁垂直面）における脆弱部の割合は3%程度を参考数量とします。 また、下地調整材（C-2）は塗膜の撤去、存置にかかわらず、塗装面全面とします。
2	—	本工事範囲において、現時点でアスベスト含有建材は無いものとして見積りしてよろしいでしょうか？	その通りでよろしいです。 アスベスト含有調査を実施の上、含有がない旨を確認済みです。
3		以下 余白	
4			
5			

京都工芸繊維大学（松ヶ崎）4号館外壁等改修工事

指 示 書

京都工芸繊維大学施設環境安全課				
課 長	副課長	係 長	主 任	係 員
				

